

SONY

2003年度第3四半期 連結業績概要

(2003年12月31日に終了した3ヶ月間)

注意事項

スライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいていいます。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入と急速な技術革新や、エレクトロニクス、ゲーム、音楽、映画分野で顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争のなかで、顧客に受け入れられる製品やサービスをソニーが設計、開発し続けていく能力、(4)ソニーがエレクトロニクス、音楽分野において人員削減やその他のビジネス事業再編を成功させる能力、(5)ソニーがエレクトロニクス、音楽、映画、その他分野においてネットワーク戦略を成功させる能力、音楽、映画分野でインターネットやその他の技術開発において発展し、販売戦略を成功させる能力、(6)ソニーが主にエレクトロニクス分野において研究開発や設備投資に充分な経営資源を適切に集中させる能力、(7)ソニーと他社との合併、提携の成否、(8)音楽事業に関するベルテルスマン社との合弁会社設立について、当局の認可が得られず、計画を断念せざるを得なくなるリスクなどです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

FY03.3Q 連結業績

	FY02.3Q	FY03.3Q	前年同期比	(単位:億円) 前年同期比 (LCベース)
売上高	23,077	23,234	+0.7%	+6%
営業利益	1,995	1,588	-20.4%	-15%
税引前利益	2,019	1,578	-21.8%	
当期純利益	1,254	926	-26.2%	
フリーキャッシュフロー* (4~12月) (金融分野を除くベース)	2,221	-771	-2,991	億円
構造改革費用	140	536	+396	億円

* 営業活動と投資活動によるキャッシュフロー

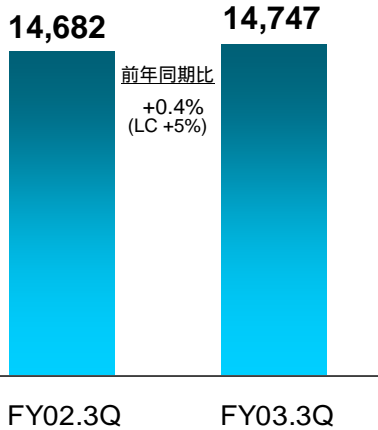
為替の影響 売上高:約 -1,188億円 営業利益:約 -117億円

	FY02.3Q	FY03.3Q
平均レート		
1ドル	122円	108円
1ユーロ	121円	128円

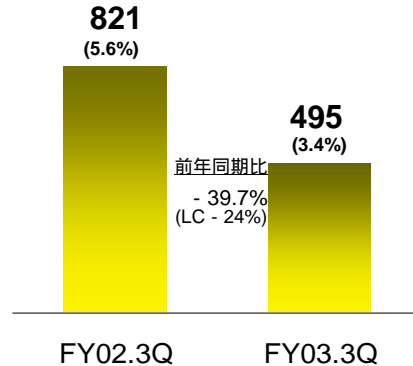
FY03.3Q エレクトロニクス

(単位:億円)

売上高



営業利益

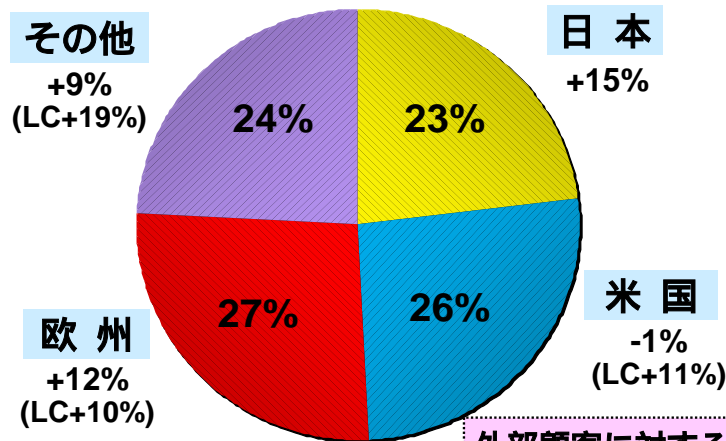


LCは現地通貨試算ベースの伸び率
セグメント間取引を含む

()%は営業利益率

3

エレクトロニクス地域別売上 (FY03.3Q)



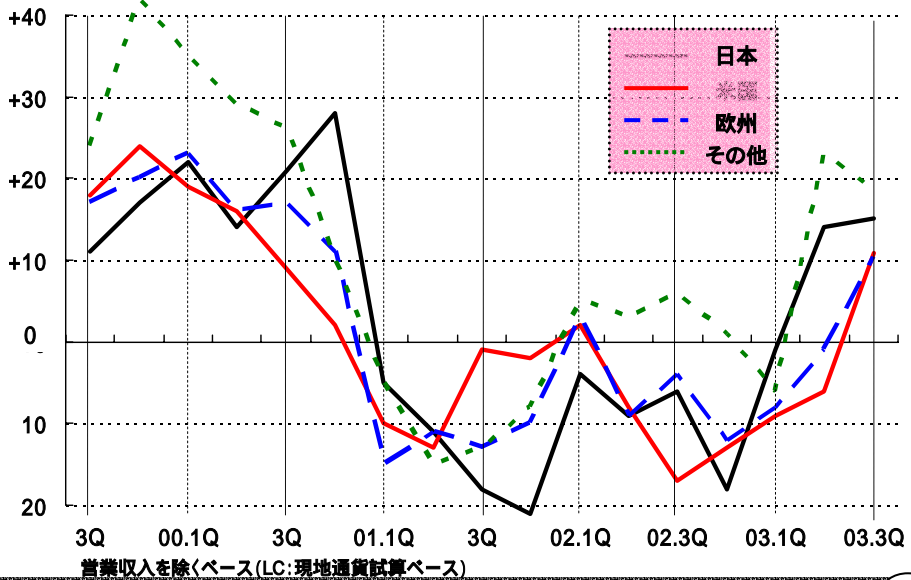
円グラフは地域別売上高構成比率
円グラフ外の%は前年同期比の伸び率
LC: 現地通貨試算ベースの伸び率
営業収入を除く外部顧客売ベース

外部顧客に対する売上
14,518億円
+8% (LC+14%)

4

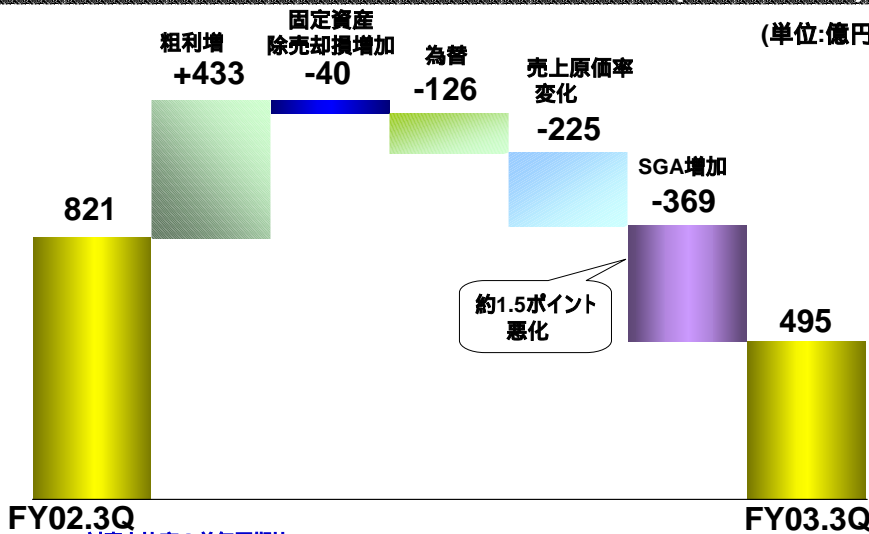
エレクトロニクス地域別売上トレンド

(前年同期比伸び率 %、LCベース)



エレクトロニクス営業利益 増減要因(FY03.3Q)

(単位:億円)



FY02.3Q

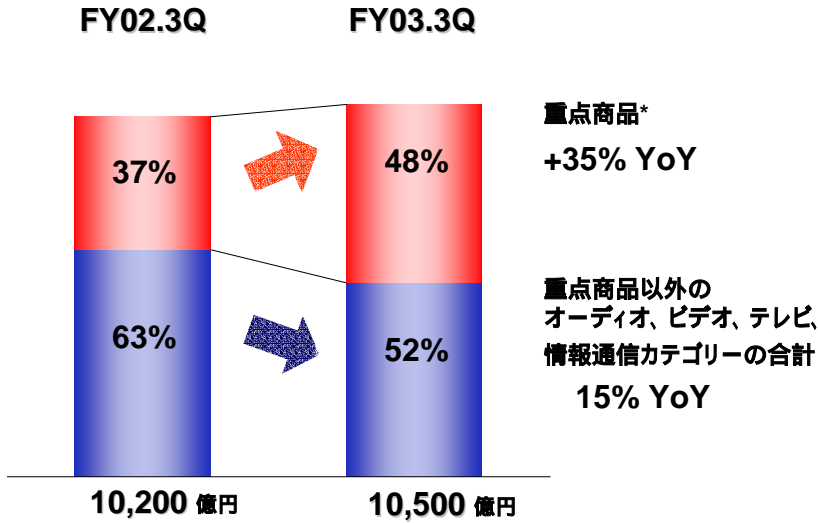
FY03.3Q

対売上比率の前年同期比

売上変化による粗利増減 = 売上差額 × 昨年の粗利益率として、セグメント間取引、外部顧客向け売上に対する粗利増減を別々に算出し、合算しています。

売上原価率の変化による原価増減 = 原価率の変化ポイント × 前年同期の売上高として、セグメント間取引、外部顧客向け売上に対する原価増減を別々に算出し、合算しています。

重点商品の売上 (FY02.3Q FY03.3Q)



*重点商品カテゴリー：PDP/LCD WEGA、DVDレコーダー&CoCoon、PSX、VAIO、カムコーダー、DSC

(伸び率は円ベース)

7

FY03 重点商品プロジェクト

PDP/LCD
WEGA ENGINE
 TVラインナップ拡充
 LCD/PDP合計27機種へ



03年10月* ~

DVD Recorder
 DVDRW, PSX, CoCoon

スゴ録シリーズ
 4機種発売



03年11月 ~*

PSX:
 エレキとゲームの融合



03年12月*

CoCoon
 2機種発売



DSC
 ラインナップ拡充
 Cyber-shot T1, F828



03年11月* ~

Camcorder
 商品力強化
 PC300K



03年9月*

VAIO
 収益性改善の推進

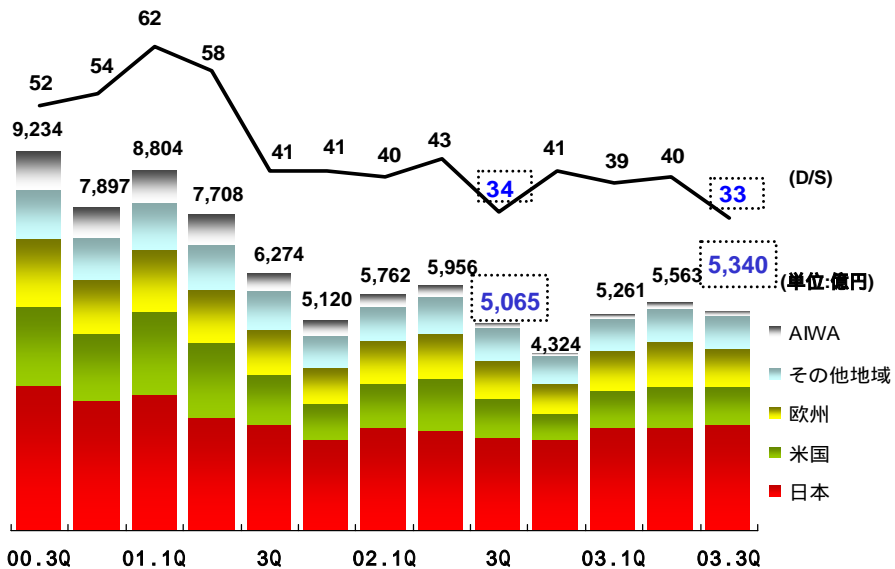


03年10月Vシリーズ'発売*

* 発売時期

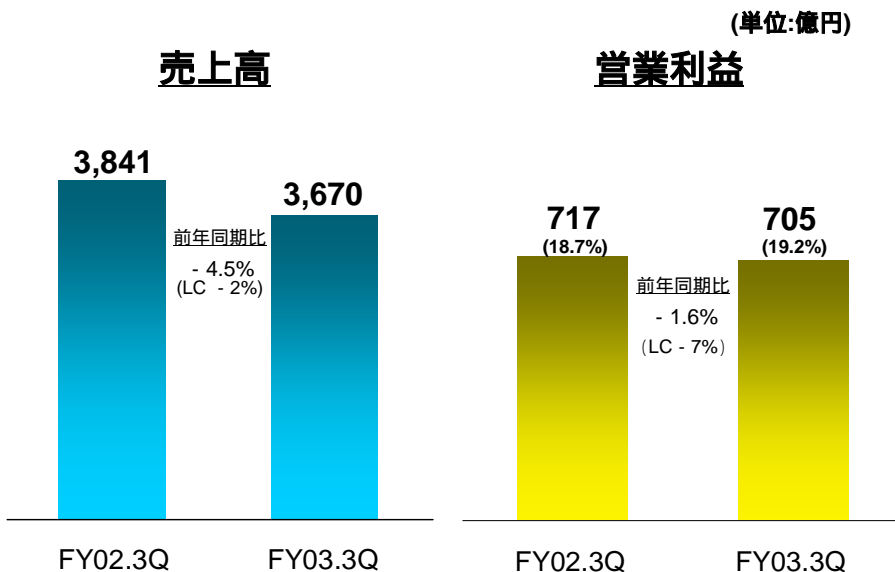
8

エレクトロニクス連結棚卸資産（地域別）



棒グラフ：在庫水準(億円単位)、折れ線グラフ：期首期末平均在庫 対 平均売上回転日数
 ビジネス別セグメントの区分変更により、FY00.3Q～FY01.4Qの在庫金額は修正再表示しています。
 在庫回転日数は、FY01.1Q～4Qのみ修正再表示しております。

FY03.3Q ゲーム



LCは現地通貨試算ベースの伸び率
 セグメント間取引を含む

(%)は営業利益率

PlayStation ハード・ソフト生産出荷数

PS2ハード (万台)

	02.3Q	03.3Q	増減
合計	803	683	-15%
日本	149	164	+10%
北米	326	167	-49%
欧州	328	352	+7%

PS2ソフト (万本)

	02.3Q	03.3Q	増減
合計	7,900	10,400	+32%
日本	1,200	1,400	+17%
北米	3,800	5,000	+32%
欧州	2,900	4,000	+38%

PS/PSoneハード (万台)

	02.3Q	03.3Q	増減
合計	302	102	-66%
日本	25	19	-24%
北米	147	60	-59%
欧州	130	23	-82%

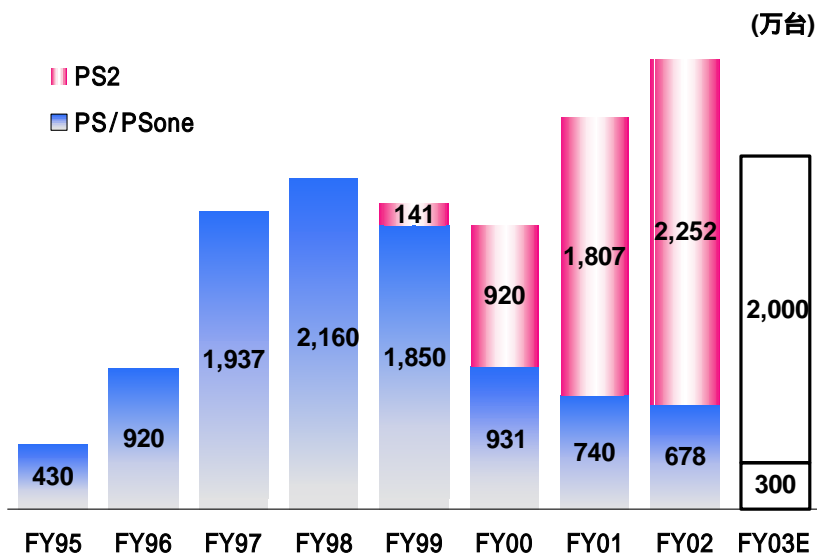
PS/PSoneソフト (万本)

	02.3Q	03.3Q	増減
合計	2,200	**1,000	-55%
日本	300	**50	-83%
北米	1,000	500	-50%
欧州	900	500	-44%

ハードウェア、ソフトウェアの製品の生産出荷数量は生産拠点から出荷した時点で集計しています。
同製品の売上は、顧客に同製品が引き渡された時点で認識されます。

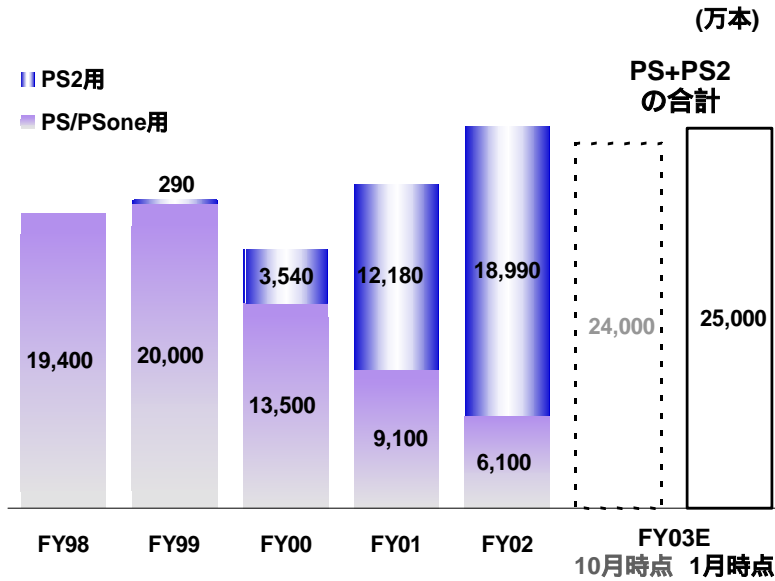
ソフトウェアの生産出荷数は、10万の位を四捨五入し100万本単位で表示していますが、
PS/PSoneソフトの03.3Qの日本の欄に関しては、有効数に満たなかったため、参考のため1万の位を四捨五入し10万本単位で表示していません。この為、合計欄の本数が地域別生産出荷本数の合計と一致しません。

PlayStation ハード生産出荷台数推移 & 計画

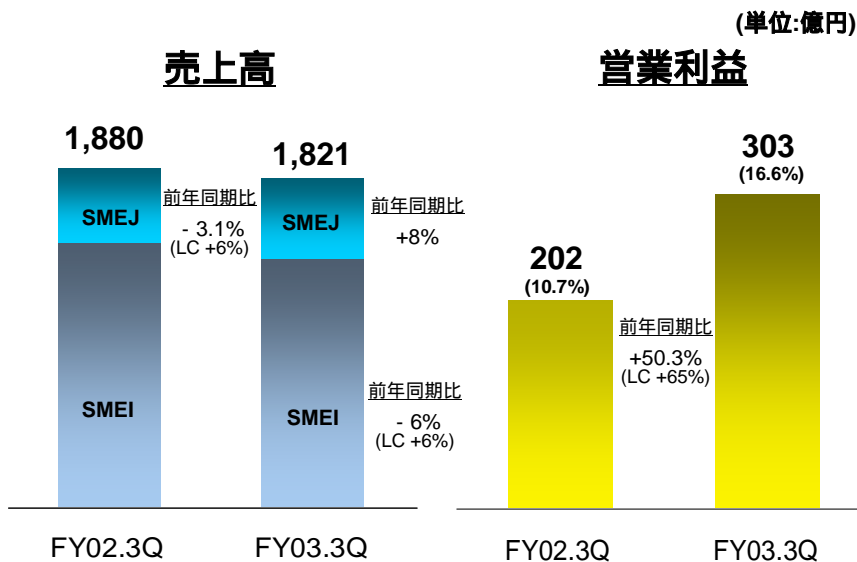


FY95は94.12月から96.3月までの累計

PlayStation ソフト生産出荷本数推移 & 計画



FY03.3Q 音楽



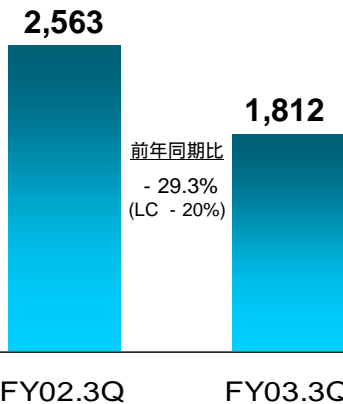
LCは現地通貨試算ベースの伸び率
セグメント間取引を含む

()は営業利益率

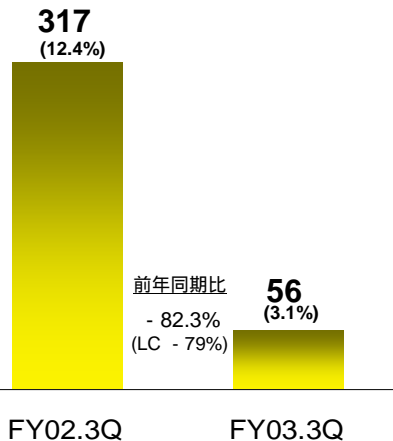
FY03.3Q 映画

(単位:億円)

売上高



営業利益



FY02.3Q

FY03.3Q

FY02.3Q

FY03.3Q

LCは現地通貨試算ベースの伸び率
セグメント間取引を含む

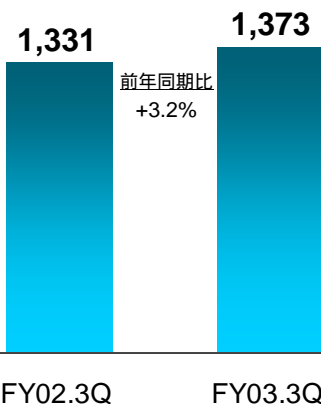
()%は営業利益率

15

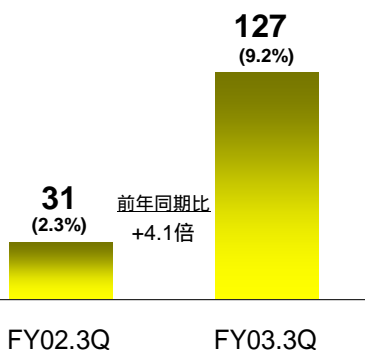
FY03.3Q 金融

(単位:億円)

金融収入



営業利益



FY02.3Q

FY03.3Q

FY02.3Q

FY03.3Q

セグメント間取引を含む

()%は営業利益率

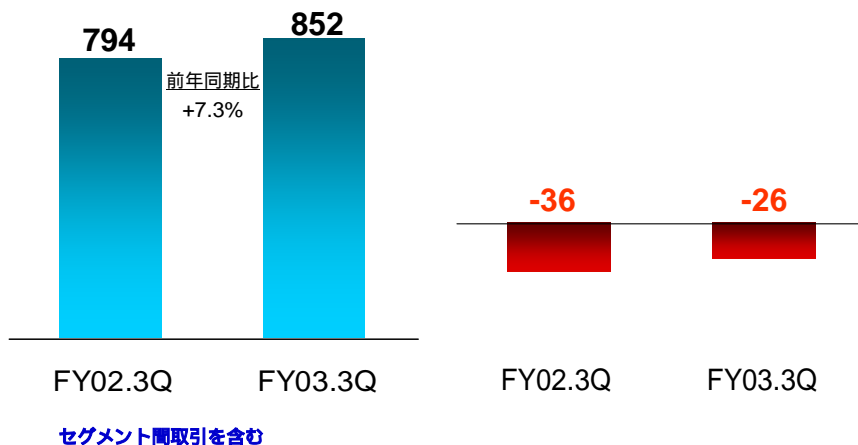
16

FY03.3Q その他

(単位:億円)

売上高

営業損失



17

ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ



< 米国会計基準、単位 : 百万ユーロ >



	2003年 10-12月	前年同期比	2003年 1-12月
売上高	1,437	+ 16%	4,637
税引前利益(損失)	46	+123百万ユーロ	(130)
当期純利益(損失)	43	+112百万ユーロ	(86)
販売台数(万台)	800	+13%	2,720

上記業績には、構造改革費用として、当四半期に9百万ユーロ、当年度に63百万ユーロが含まれています。
 ソニー・エリクソンは持分法適用会社であり、同社の当期純利益(損失)の50%(持分割合相当分)が、ソニーの連結当期純利益に計上されています。

18

FY03 業績見通し

(単位:億円)

2004年1月28日現在	FY02	FY03	前年度比	(10月時点)
売上高	74,736	74,000	-1%	74,000
営業利益	1,854	1,000	-46%	1,000
税引前利益	2,476	1,300	-48%	1,200
当期純利益	1,155	550	-52%	500
設備投資額	2,612	3,500	+34%	3,500
減価償却費	3,519	3,900	+11%	3,900
うち、有形固定資産分	2,795	2,800	前年度並み	2,800
構造改革費用	1,072	1,500		1,400
- 早期退職関連	470	980		890
- 事業の集中と選択関連	602	520		510
【為替前提レート】	(通期)	(4Q)		(3Q以降)
1ドル	121円	105円前後		110円前後
1ユーロ	120円	135円前後		125円前後

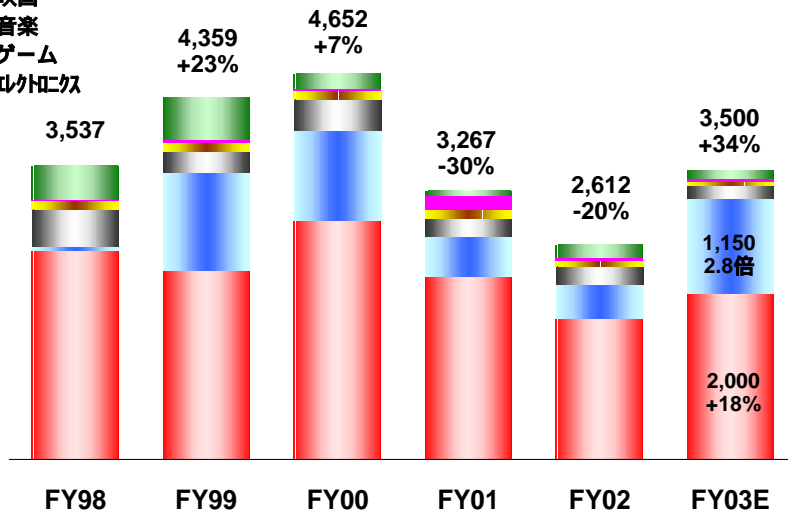
(減価償却費は、無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む)

19

FY03 設備投資額見通し

(単位:億円)

- その他
- 金融
- 映画
- 音楽
- ゲーム
- エレクトロニクス



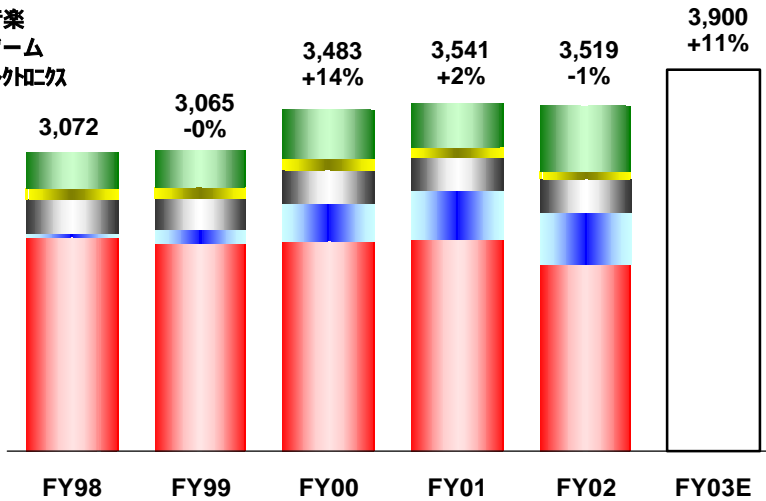
%は全て前年比伸び率

20

FY03 減価償却費 見通し

- その他
- 映画
- 音楽
- ゲーム
- その他

(単位:億円)



(無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含むベース)

%は全て前年比伸び率

21

(参考資料) 為替レート推移

(単位:円)

2003年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル					
市場平均レート	117	117	108		
加重平均レート	117	117	108		
予約レート	118	117	113		
ユーロ					
市場平均レート	133	131	128		
加重平均レート	133	130	127		
予約レート	131	133	131		
2002年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル					
市場平均レート	126	118	122	118	121
加重平均レート	126	118	122	118	121
予約レート	128	121	121	121	122
ユーロ					
市場平均レート	115	116	118	126	120
加重平均レート	115	116	121	126	119
予約レート	115	117	120	125	119

*各月のネット輸出金額により加重平均したもの

22

(参考資料) 主要製品 ソニー販売/出荷台数

販売台数 (VAIOのみ出荷台数)

(単位:万台)	FY99	FY00	FY01	FY02	FY03	
					10月時点	1月時点
カムコーダー	470	550	540	575	630	670
デジタルスチルカメラ	140	260	340	560	1,000	1,000
DVDビデオプレーヤー	190	400	500	700	800	800
カラーテレビ	1,120	1,130	1,000	1,000	1,100	1,100
VAIO	140	250	350	310	310	310
デスクトップ	40	80	140	120	120	120
ノートブック	100	170	210	190	190	190
海外	N/A	110	180	180	200	200
国内	N/A	14	170	130	110	110